

学院志研究室 News Letter 第10号

News Letter of Research Center for the History of Otemon Gakuin

2018年度は学内の倉庫に眠っていた貴重な学院志資料を発見、収集することができました。ほんの一部をご紹介します。



学院の前身である大阪偕行社学院、大阪偕行社学園の施設基金の通帳です。昭和20年前後のものがほとんどで、戦中・戦後の学院の歴史を物語る貴重な資料です。



財団法人錦城育英会の設立登記申請書および寄附行為書の控えです。錦城育英会は終戦後に大阪偕行社学園を運営した組織で、昭和21年2月22日に認可、同年12月6日に陸軍の組織である大阪偕行社の継承団体と内務省に認められ、解散を余儀なくされました。翌年4月、財団法人大手前学園として再スタート、11月に校名を追手門学院と改称して今につながります。これは学院の生き残りをかけた激動の時代を象徴する資料です。

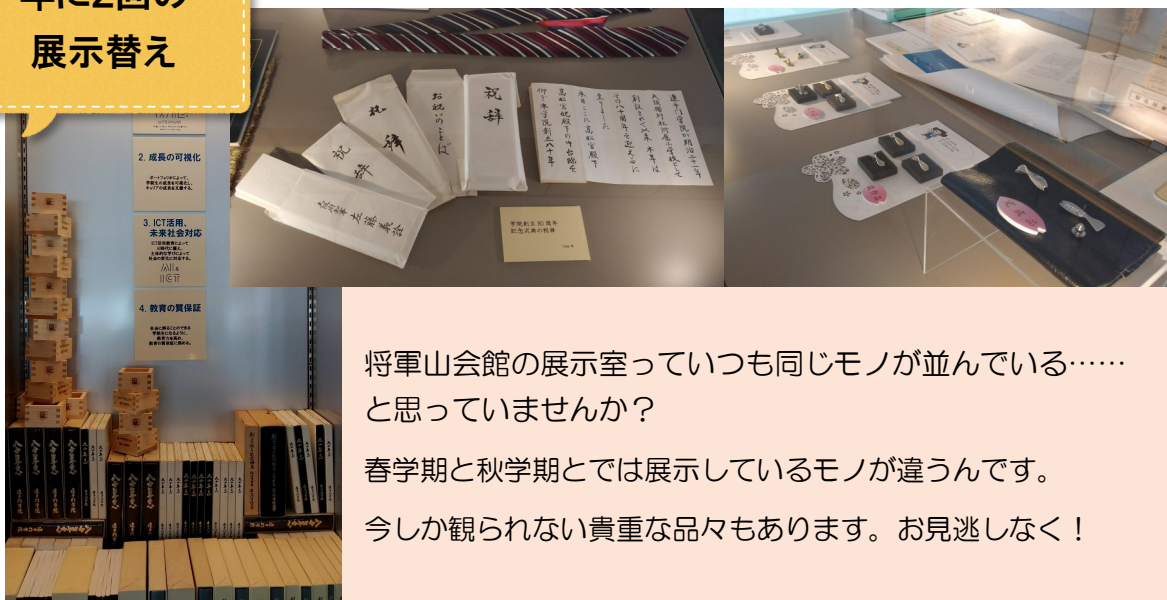
理事会、全学院部局長会議の音声テープです。全部で20本あり、昭和42年～44年に集中しています。大学の開学が昭和41年、そして安威に中学部ができたのが昭和42年ですから、安威キャンパスの拡充の議論がなされていると予想されます。現在、デジタル変換の作業中です。

ここがオススメ！ 将軍山会館

安威キャンパスにある将軍山会館は、追手門学院の歴史を展示している施設ですが、じつはそれだけじゃないんです！

意外と知られていない穴場スポットを今回はご紹介します。

年に2回の 展示替え



将軍山会館の展示室っていつも同じモノが並んでいる……
と思いませんか？

春学期と秋学期とでは展示しているモノが違うんです。

今しか観られない貴重な品々もあります。お見逃しなく！

クリアファイル をプレゼント



館内アンケートに回答いただいた方に、将軍山会館オリジナルのクリアファイルをプレゼント中！ 数量限定です。

ランチも
勉強も



明るくて
開放的な
自習室



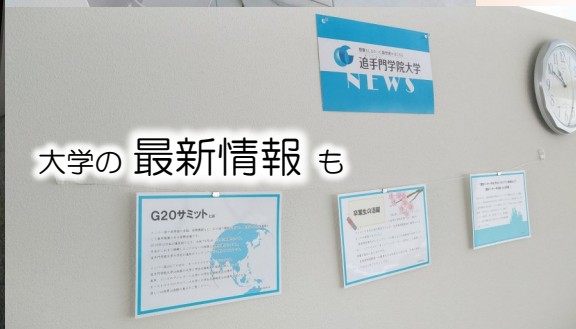
自動販売機
電子レンジ
給湯
あります



2階からの眺めも
オススメです



1階のロビーは 飲食OK



大学の 最新情報 も

追手門学院大学（安威キャンパス）将軍山会館

〔開館時間〕 9：30～17：00（入館は閉館の30分前まで）

〔休館日〕 土日祝 大学が定める休業日 展示替期間



<ご案内> 年志等の無料頒布

学院志研究室では、追手門学院もしくは追手門学院大学で刊行された書籍の無料頒布をしています。

お求めの方は、ご希望の「書籍名」「冊数」「宛先」を下記までお知らせください。

ただしせつかくお求めいただいても在庫切れの場合がございます。お早めにお問い合わせください。

【お問い合わせ先】将軍山会館事務室

TEL072-641-7693（受付時間9：30～16：30）休館日は休業

E-mail archives-g@otemon.ac.jp

★＝残部僅少

書 名	編著者	発 行	発行年
 追手門の歩み—世紀をこえて— ★	追手門学院	追手門学院	2011
 追手門の歩み～世紀をこえて～[DVD]	追手門学院	追手門学院	2014
 追手門学院ブックレット あきらめなければ道は開ける	浅川智恵子/竜田邦明	追手門学院	2011
 追手門学院ブックレット2 志の教育	追手門学院大手前中・高等学校	追手門学院	2013
70年志 ★	追手門学院	追手門学院	1958
80年志	追手門学院	追手門学院	1968
90年志	追手門学院	追手門学院	1978
創立90周年記念事業のまとめ	追手門学院	追手門学院	1985
100年志	追手門学院	追手門学院	1988
創立100周年追手門学院のご案内	創立100周年記念事業事務局	追手門学院	1988
創立100周年記念事業 広報	創立100周年記念事業事務局	追手門学院	1986～1989

書 名	編著者	発 行	発行年
120年志	追手門学院	追手門学院	2008
追手門学院大学10年記念誌	追手門学院大学	追手門学院大学	1976
創立10周年記念論集 経済学部篇	追手門学院大学	追手門学院大学	1976
創立10周年記念論集 文学部篇 ★	追手門学院大学	追手門学院大学	1976
追手門学院大学20年史	追手門学院大学	追手門学院大学	1986
追手門学院大学20年史 総目次および正誤・追補	追手門学院大学	追手門学院大学	1996
創立20周年記念論集 経済学部篇 ★	追手門学院大学	追手門学院大学	1987
創立20周年記念論集 文学部篇 ★	追手門学院大学	追手門学院大学	1987
追手門学院大学30年史	追手門学院大学	追手門学院大学	1996
創立30周年記念論集 経済学部篇 ★	追手門学院大学	追手門学院大学	1997
創立30周年記念論集 経営学部篇	追手門学院大学	追手門学院大学	1997
創立30周年記念論集 文学部篇	追手門学院大学	追手門学院大学	1997
創立30周年記念論集 人間学部篇 ★	追手門学院大学	追手門学院大学	1997
創立40周年記念論集 ★	追手門学院大学	追手門学院大学	2007
海外協定校からのメッセージ (大学40周年記念式典)	追手門学院大学	追手門学院大学	2007
追手門学院大学50年志	追手門学院大学	追手門学院大学	2017



無料頒布の書籍・冊子はまだまだあるよ！
将軍山会館でチェックしてみてね！

冊子『大阪府北部地震の記録』を発刊

このたび学院志研究室では冊子『大阪府北部地震の記録』を編集、発刊しました。

追手門学院大学は、2018年6月18日7時58分頃に発生した大阪府北部地震の震源地近くに位置し、地震当日は震度6弱の激しい揺れに見舞われました。校舎倒壊といった被害はありませんでしたが、書架を設置している教員個人の研究室や図書館で被害が目立ちました。

地震に備えて固定していた書架そのものが転倒したり、書架の本が床に散乱したりしたほか、1970年竣工の4階建ての図書館は、3・4階部分の外壁が壊れました。

大阪府北部地震の記録

平成31年3月

学校法人 追手門学院
追手門学院大学



地震直後の個人研究室



図書館での復旧作業

地震が発生した時刻は通学・通勤時間帯にあたり、すでに出勤していた教職員らを中心に100人体制で安否確認をはじめ、学生・生徒らの帰宅支援、被害状況の確認、復旧に向けた対応を行いました。

このほど発刊しました冊子『大阪府北部地震の記録』は、A4版68ページの冊子で、「地震当日の対応」「地震体験記」「地震対応記録」「被災記録写真」の4つのパートで構成しています。このうち「地震当日の対応」では、発生直後の避難の状況から休講の決定、学生の帰宅支援、被害状況の確認まで対応状況を時系列でまとめています。

また、「地震体験記」には教員4名、職員7名、学生1名がそれぞれ寄稿しています。自宅や大学内での被災時の状況やその後の行動を振り返り、毎年実施している避難訓練の重要性を改めて認識したとの感想も寄せられています。

本冊子は、南海トラフ巨大地震等の災害への備えとして今後活用していきます。お求めの方は追手門学院大学学院志研究室までお問い合わせください。

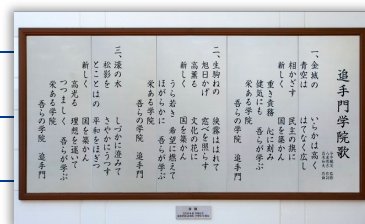
大阪府北部地震の展示を2019年秋から將軍山会館にて開催する予定です。
詳細は次号の学院志研究室News Letterでお伝えいたします。

活動日誌

(2019年1月～5月)

主な活動

1月 23日	将軍山会館にて東京山桜会の石川副会長を案内
2月 14日	第7回室員会議(将軍山会館ロビー)
15日	学院志研究室News Letter第9号を発行
20日	耳原小学校の児童が将軍山会館を見学
25日	堺屋太一氏追悼特別展示コーナーを将軍山会館に開設(3月27日まで)
27日	将軍山会館オリジナルクリアファイルを作成
3月 4日	読賣新聞が将軍山会館展示室を取材
31日	『大阪府北部地震の記録』を発刊
4月 9日	企画展「追手門130年の先へ」を開催(7月24日まで)
15日	追手門UI論の受講生が将軍山会館を見学
17日	資料保全活動の一環として、取り壊しが決定した中高校舎から卒業記念品(ジオラマ、ショーケース)を将軍山会館へ移管
19日	資料保全活動の一環として、取り壊しが決定した中高校舎・体育館から「定礎」等を第2資料室へ移管
22日	第1資料室にて博物館実習 資料保全活動の一環として、取り壊しが決定した中高体育館の学院歌歌詞版を記録撮影
23日	将軍山会館にて一富士フード一行を案内
29日	将軍山会館にて博物館実習
5月 7日	追手門UI論の受講生が将軍山会館を見学
27日	第1資料室にて博物館実習



学外活動

- 3月 18日 大阪大学社会学共創連続セミナーに参加
(小倉、尾崎、篠原)
- 19日 アート・ドキュメンテーション学会第74回
見学会(京都府立京都学・歴史館)に参加
(篠原)

学外からの資料寄贈

- ◇ 松谷直樹氏(追手門学院高校卒業生)より野球部ユニフォームなど
- ◇ 長澤利治氏(大学卒業生)より茨木ローターアクトクラブ会誌
- ◇ 一富士フードより食券、制服など
- ◇ 緑風観光より運転手の帽子など

2019年度 室員・調査員

室 長 藤吉 圭二 (社会学部教授)

副室長 齊藤 一誠 (国際教養学部教授)

室 員 佐藤 伸行 (経済学部教授)
真銅 正宏 (学長代理・副学長
国際教養学部教授)

瀧端 真理子 (心理学部教授)

豊島 眞介 (副学長)

室 員 柏原 祥代 (追手門学院幼稚園
(学舎協力者))

竹下 貴 (追手門学院小学校)

西浦 誠 (追手門学院大手前中・高等学校)

谷川 譲二 (追手門学院中・高等学校)

調査員 住谷 研 (初等中等課)

横井 貞弘 (元大手前中高教諭)

武田 昌一 (近畿大学元教授)

吉田 浩幸 (校友会特別顧問)



編集後記

ニューズレター第10号をお届けします。ひきつづき各学舎、部署より貴重資料の受入れを進めています。将軍山会館も、より使っていただきやすい運営に向け工夫を重ねています。過去の刊行物、残部僅少のものも出てきています。ご希望の場合はお早めにご連絡ください。(藤吉 圭二)

《資料の寄贈・提供のお願い》

学院志研究室では、追手門学院の歴史および学院関係者の事跡に関する資料を広く収集しています。広報誌などの学内刊行物、記念品、写真、フィルム、学生生活に関わるものなど、学院に関する資料がございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

追手門学院大学 学院志研究室 News Letter 第10号

2019年6月25日発行

■お問い合わせ先■

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15

資料室 ☎ 072-665-5062 (内線4405)

将軍山会館 ☎ 072-641-7693 (内線3801)



archives-g@otemon.ac.jp

バックナンバーはホームページでダウンロードいただけます



学院志研究室は2019年4月をもちまして研究・社会連携部におかれることになりました